

発行日 3/11/1
発行 岡崎市小中学校
編集 視聴覚教育協会
調査部 視聴覚教育協会
印刷 岡崎市明大寺町
社 藍 プラザ-孔版社
Tel. 340. 2592

合研第二次中間会報告

十月五日、国立教育研究所大野連太郎先生が三島小学校へ来られた機会に、合研についての御指導をお願いした処、大変お疲れの御様子でしたが、快よく御引受け下さって、当初午後一時半より三時半迄の御約束だったのを五時近くまで延ばして下さい。最終列車で其の夕方御帰りになりました。これも會員諸兄の旺盛な研究意欲が先生の御気持を振り動かしたもので、先生の教育に対する強烈な指導意欲と共に、深く敬意を表するところでありませう。以下、当日の研究状況を重点的に報告し、御参考に供したいと思ひます。

問題(一) 一年社会科「丈夫なからだ」の展開例に於て、理科の教材を区別せよとの御指導だが、低学年では総合的に扱った方がよくなるか。又個人衛生の指導に重点をおくべきではないか。

「総合」は理科でも社会科でもないものになってしまふ。その何れか一方に筋を通すこと、が肝要。この単元のねらいは、丈夫な体にする為の社会的な取り組みが学習のねらい。即ち身体をふせぐ為の基礎的なもの考え方をねらうのがねらいであつて、近代社会では個人を越えた社会的な問題として学ばせたい。

問題(二) 中学三年の科学史の取扱い及び原理学習と技術学習をどう区別するか。人間の自然観の変遷を中心にする。即ちギリシヤ神の自然観から、近代の自然観への変せんを理解させる。今日の自然界は分子・原子の概念の理解がなくては解決されない。原理の生きている場として技術を理解させる。技術をかんげんして、原理に分解出来るものならば扱つてもよい。尚、教材としては児童生徒の理解出来るものな

らばよい。
問題(三) 小学校六年社会科「世界の国々の取扱いをどうしたらよいか」

日本の姿をはつきりさせる為には外国の同じ事柄を学習させる。産業の問題は美態としてよく理解出来る。尚、各国民の生活問題を比較させるのもよい。

問題(四) 中学校三年社会科「政治・経済・社会の取り扱いについて」

中学三年の政治経済社会の学習指導上の問題点は、事実を通して教える具体性の欠如にある。わかりやすいかたちで、其の事実を出していく工夫が必要だ。現状は国土討論・物産論が入ってきているからむずかしいのだ。中学校社会科は原

理的なもの予え方にもんだいがある。
問題(五) 地域別の地理学習と産業別の地理学習とはどちらがよいか。

産業別がよい。日本全体の理解に役立つからである。
問題(六) 実践記録の意義はどの点にあるか。先づ展開例のゆがみが発見出来る。次に

共同で研究出来る重要な資料である。実践記録の活用は、研究問題によって取り扱ひ方が異つて来る。又その目的によつて必ずしも全部とる必要はない。

問題(七) 前掲の総合教育の欠陥が理解出来ない。

例えば、社会科単元「私たちの健康をどうして守るか」という学習には、当然伝染病が問題となり、はえが登場する。はえをほく減するためには、はえの生態が学習内容となる。しかし、それは社会科の中に理科的な教材が入つて来ることはあるが、それを使つて社会科の学習の目的を達成すればよいのであつて、社会科でもなければ、理科でもない総合学習ではない。

以上は、当日の主な問題と指導の概略である。当初は各学年の研究途上の実際的な問題点が研究の中心になるものと予想されたが、稍、一般問題が多かつたのはどういつわけだつたらうか。最後に先生より、本研究は一地域ではあるが、全国的な意義をもつもので、方向としてはよいが、内容的には今後の研究に待つ点が多いと激励されて会を閉じました。

(調査部)



11月教材映画



フィルム名 稲の一生(二〇分)
 適用学年 小四年 理科
 単元 秋の生きもの

内容

- よい粒種をえらぶ。一粒の粒を切つてみる。苗代準備。芽の出方。発芽と空気に。発芽と温度。苗代の芽ばし。田植え。根のはりかた。分けつのおえかた。除草剤24D。日照と分けつ。肥料と稲の生育。稲の二化のい虫。幼穂の形成。減数分裂。出穂。開花。受粉から受精へ。いもち病。結実。ゆたかな実り。

使用法

稲の観察への導入或は観察の整理にも使用できるが、内容に理解の困難な点があるから補説される必要がある。

フィルム名 凸レンズ(二〇分)
 適用学年 小五年 理科
 単元 光の働き

内容

- 日常みかける光学現象のいろいろ。光の性質(直進、反射、屈折)。プリズムによる光の屈折と凸レンズ。凸レンズの性質。平行光線、発散光線と凸レンズ。凸レンズのつくる像(写真機)。眼のはたらき。

使用法

物の大小、遠近と視覚。虫メガネの拡大作用。凸レンズと光学機械。光の働きに関係した部分のみを選んで映写する必要のあると思われる。

フィルム名

植物の一生(一〇分)

適用学年

中一年 理科

単元

植物はどのようにして養分を作るか

内容

- 種子の発芽。芽の生長と機能。果実の生長と機能。えんどうの生活過程。養分を作り出すための根・くき・葉の働き。植物組織の生長のありさま。光合成。

使用法

単元のまとの際使用する場合、よいと思われ

フィルム名

月(一〇分)

適用学年

中一年 理科

単元

星と太陽

内容

肉眼と望遠鏡による月のすがた

使用法

月の運動(自転、公転)などの場合、動的にとらえられた部分を学習に取り入れられるようにしたい。

フィルム名

おかあさんのしごと(三〇分)

適用学年

小一年 社会

単元

お家のしごと

内容

- 朝のしたく。朝ごはん。昼間のしごと。夕食後のひととき。あすのしたく。

使用法

(この映画は農家のおかあさんが描かれているが、農家というところにこだわることなく、おかあさんの仕事という観点から取扱うべきである。従ってこの画面を問題にする場合も、映画に出てきたおかあさんの仕事の分析という具体的理解にはじまって、自分達のおかあさん、或は勤め人、商人のおかあさんと比較して理解を深めるよう配慮したい。

内容

- 利根川の河口、平野を流れる利根川。利根川の上流。関東北部の山々での生活。水力発電、斜面の畑、溪谷の景観。利根川の中流。たびたびの水害と水害地方での工夫。

水害対策

- 利根川の歴史(江戸川と東京)。
- 台地の農業(養蚕)。
- 前橋市とその近郊(製糸、絹織物業)。
- かんがい用水(水路と水田)。
- 利根川の下流。
- 水郷地帯での水の調節。
- 干拓によってできた水田(朝茶)。
- 水のたまりない成田台地(高総用水)。
- 河口に発達した町(銚子)。
- 川と人間生活。
- 土地の開発。

使用法

われわれが生活している日本の国土の現状とその利用開発について考えさせようとしている。従って関東地方を学習する場合、及び災害防止、土地利用と開発の問題を解く糸口を把えるに有効な教材である。

